

2010.2.14 楽山会 久住山 1786.5m

### 九重山系の概要

九重山群は、九州本土の最高峰の中岳(1791m)を筆頭に 1700m 以上の山が8座ある。黒岳を除き、ほとんどが草原で覆われ、樹木は少なく、いたるところに [ミヤマキリシマの群落](#) があり、[コケモモ \(花\)](#) も多い。いずれも国指定の天然記念物となっている。山群の北に飯田高原、南に久住高原、國內屈指の広さと美しさの火山性草原を展開している。山系中心部標高 1300m に九州唯一の高層湿原で [ラムサール条約](#) (「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」) に指定されている「坊がつる」が拡がっている。

「坊がつる」の名の由来は、かつて天台宗の靈場となっており、本坊弘蔵坊のあった"つる"とのことで、"つる"とは水流のある平坦地をさします。一帯は湿原植物の宝庫になっており、キャンプ場もあり、GWは多くの登山者でにぎわう。

その南西部に九州最高所の温泉 [「法華院温泉」](#) があり、登山者でにぎわっている。



